

堀内新泉

ほりうち しんせん

小説家。

明治六年九月二十日京都生れ（二七三一）。

本名文麿。別號半白道人、小倉山人、新泉生、新泉病客等。第一高等

中學校中退。落合直文主筆淺香社同人、次で幸田露伴の門に入る。

著譯書「家庭のかゞみ」（内題「家庭の鑑」本名、明治二十一年五月

一日國光社）、「雪紛々」（幸田露

伴合作、明治二十四年一月十七日春

陽堂）、「老人讀本・鶴之巻」（明

治二十四年十一月十五日岡崎屋書

店）、ラーチンゲ（トマス、テーテ

インゲ）著「不平慰安法」（譯、明治二十八年五月十九日實業之日本

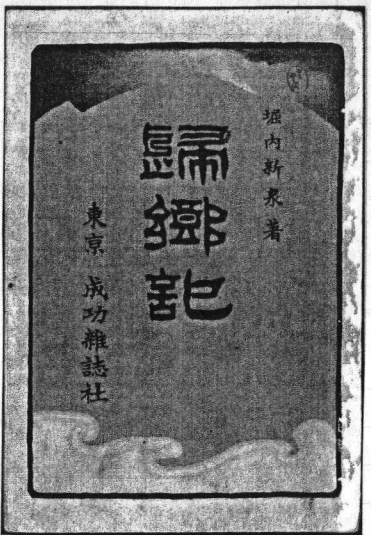
社）、小説「人の兄（前編）」（明治二十八年六月二日成功雜誌社）、

「はつしほ」（内題「初潮」合著・最好會編、明治二十八年十一月）

「十六日泰山堂）、「娘の母の書簡」（明治二十九年四月十八日實業

之日本社）、「精力増進法」（明治四十年五月十一日實業之日本社）、

小説「全力の人」全二冊（前編・明治四十年七月二十日鷺々堂、後篇



四十二年八月六日東亞堂書房）、「歸

郷記」（明治四十年八月二十五日成

功雜誌社）、「血寫經」（明治四十

一年十月二十一日成功雜誌社）、ウ

オニター、デー、ムツゲイ一著「讀

頭新販賣術」（譯、明治四十一年十月十八日實業之日本社）、「人間

學一一名の身の上」（明治四十一年十月二十一日博文館）、「故郷

を出づる記」（明治四十一年六月二十日成功雜誌社）、エス、リツチ

モンド原著 『現代執務法』 (明治四十二年十一月) (千二日博文館)

『業才學』 (明治四十四年十一月十

二日博文館)、<sup>雑誌</sup>『努力』 (大正

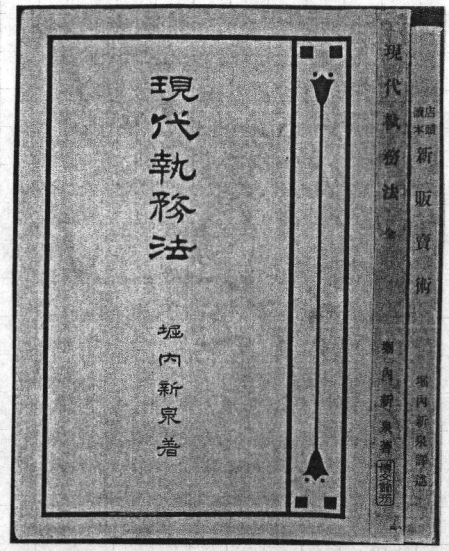
二年一月十五日東京亞書房)、同『父

の遺訓』 (大正四年一月) (千八百文

正堂書店)、『僕たちのおとつき人』

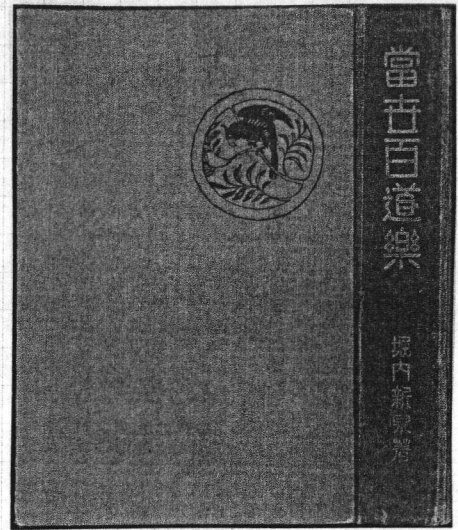
(大正四年五月五日文正堂書店)、

『當世百道樂』 (大正五年十一月十日大阪屋號書店)、 『明治因果物



當世百道樂

堀内新泉著



語』 (大正八年六月) (千四百文蓬壺

書店)、<sup>雑誌</sup>『故郷』 (縮刷・大正

十年七月) (千五百文<sup>磯部甲陽堂</sup>成功雜誌社)、『人

間と運命』 (大正十一年十一月十五

日春江堂、文友社發賣)、『馬八行』

(合著・友清九吾編、昭和二年五月

九日山口・天行居)、<sup>雑誌</sup>『人の兄』 (昭和四年八月十六日知進社)、

<sup>可謂修養</sup>『男女百濟』 (昭和七年十一月五日) (心社出版部)、 『復活の入』

(昭和二十五年十月五日大阪・巧人社)等。